

2021年9月27日

長崎県知事 中村法道様

石木ダム建設に反対する川棚町民の会

代表 炭谷 猛

石木ダム建設に反対するみんなの会

呼び掛け人 中島康 茂吉隆典 山本伸裕 土森武友

代表連絡先 〒859-3603 川棚町岩屋郷 903

電話 090-4519-2528 炭谷 猛

石木ダム建設工事に関する公開質問状

貴職が進める石木ダム建設工事について下記質問がありますので、10月8日までに文書にてご回答いただきますよう、お願いします。

記

【ダムの必要性など】

1. 川棚川で現在行われている土砂撤去や河床掘削などの河川改修をすれば、過去最大の洪水も溢れずに流せることを貴職は認めているが(2014年7月11日、川棚町川原公民館)、今も同じ考えか。

2. 今後の川棚川での土砂撤去や河床掘削の計画はどうなっているのか。

【特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律違反関係】

3. 石木ダムの県道付け替え工事現場(以下工事現場)での特定外来生物のナルトサワギク防除作業の作業スケジュールや進捗状況を明らかにしていただきたい。
4. 7月14日、工事現場でナルトサワギクの分布状況の調査を行っていた足立生物研究所有限会社の足立氏に対してアルコール検査をした時のアルコール検知器のメーカー名と型番、購入時期を明らかにしていただきたい。
5. そもそもなぜ、このアルコール検知器を購入したのか。
6. 8月3日、本庁河川課職員と交渉した際、河川課職員は工事現場でのナルトサワギクの繁茂状況について、6月4日石木ダム建設に反対する川棚町民の会(以下町民の会)による抗議・申し入れを受けて、工事現場を見に行くと述べた。それまで、ナルトサワギクの繁茂状況を本庁に報告しなかった理由は何か。
7. 『水のわ』第121号には、「石木ダム工事現場」では、ナルトサワギクは「平成30(2018)年10月時点で、すでに生育していたことを当時の現場写真にて確認」とあるが、2018年10月時点ナルトサワギクが生育したことを確認したにも関わらず、その時点で防除せず、町民の会の指摘を受けるまで、繁茂させてしまった理由は何か。

以上